

科目名 (Eng)		情報処理 (Information Processing)							
担当教員		緑川 猛彦, 齊藤 充弘							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		建設環境工学科	2	通年	必修	2	60	専門	B
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応: (B-3), (B-4), (D-2), (E-2) 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 2), 4), 5)								
授業の概要と方針		情報基礎で学んだ内容を踏まえ、一般科目や専門科目に応用できるようにソフトウェアやプログラムの基本的概念について学習する。							
到達目標		①CADを利用し図面を作成することができる。 ②製図の約束事を理解している。 ③プログラムの基本的概念を理解する。 ④基本的なプログラムの作成および読解の力を身に付ける。							
授業計画									
	週	授業項目			理解すべき内容			事前学習	
前期	1	イントロダクション			学習の進め方, 演習室の利用方法				
	2	CADの基本操作 (1)			CADの概要, 基本操作の復習				
	3	CADの基本操作 (2)			基本操作の復習				
	4	CADによる製図 (1)			鉄筋コンクリート構造物の配筋図の作成			配布プリントを熟読し, CADソフトの操作に慣れておくこと。	
	5								
	6								
	7								
	8								
	9	CADによる製図 (2)			コンクリート構造物の全体一般図の作成				
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
後期	16	イントロダクション			プログラムとは			情報基礎で学習した内容の復習。	
	17	基本操作			VBEの操作方法, プログラムの基本構造			プログラムの定義と内容について復習。	
	18	基本的なプログラム (1)			プログラミングの作業, 演算子			前週の内容について復習。	
	19	基本的なプログラム (2)			データの入力, 計算処理, 結果の表示			第18週のプログラム内容について復習。	
	20	基本的なプログラム (3)			結果の複数表示, 文字列の表し方と連結方法			第19週のプログラム内容について復習。	
	21	プログラミングの手順と管理			アルゴリズム, フローチャートの作成			第16週~20週の内容について復習。	
	22	後期中間試験							
	23	条件分岐 (1)			IF文			中間試験の反省とこれまで学習したプログラムの復習。	
	24								
	25	条件分岐 (2)			Select Case文			IF文についての復習。	
	26								
	27	繰り返し (1)			変数という概念, For文			IF文とSelect Case文についての復習。	
	28	繰り返し (2)			Do文			For文についての復習。	
	29								
	30	プログラミング演習			プログラミングの復習と演習			期末試験の反省と総まとめ, 未提出課題への取り組み。	
試験について		前期試験は実施しない。後期は, 中間試験, 期末試験ともに50分で実施する。							
評価方法		前期: 課題を70%, 学習状況を30%として総合的に評価する。 後期: 定期試験の成績を70%, 課題を30%として総合的に評価する。 最終成績が合格点に達しない者は, 再試験を実施する。							
教科書		配布資料							
参考書		ExcelVBAによるWindowsプログラミング, 草薙信照・青山千影, サイエンス社							
関連科目		情報処理 (3年)							
履修上の注意		ソフトウェアの活用やプログラミングの力は自分自身で作業を進めることで身に付くものである。積極的に課題に取り組むこと。							